

## 工事から2年後の検証・評価 < 景観・親水性 >



平成20年11月

### 個別目標: 利用・・・人々と三番瀬の触れ合いの確保

#### 目標達成基準1

三番瀬の海岸として好ましい景観が形成されること。

#### 目標達成基準2

人々と三番瀬の触れ合いが確保されていること。

#### 平成19年度の評価結果

##### 景観の評価

- ・H18年度の護岸改修イメージは、現時点において改修前の護岸やH17年度のイメージよりも景観に関して肯定的に評価されたものとする。
- ・ただし、護岸のより“自然的な”イメージについては今後も検討の余地があるものと考えられる。
- ・石積護岸にした場合、ゴミの問題が発生することに関しては、今後の検討課題である。

##### 親水性の評価

H18年度の護岸改修イメージは、現時点において改修前の護岸やH17年度のイメージよりも触れ合いの確保に関して肯定的に評価されたものとする。ただし、護岸の“安心・安全な利用”や“楽しさ”について、今後、バリエーションの検討を行う上で改善策を検討する必要がある。

平成20年度は平成19年度の評価結果をうけて、護岸検討委員会において護岸のバリエーション、緑化試験計画、砂つけ試験の検討の取り組みを行った。